

広島県赤十字有功会

— 会報 (第3号) —



年頭のごあいさつ

広島県赤十字有功会

会長 宇田 誠

有功会の会員の皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年を振り返れば、国内では中越沖地震などの大規模災害や痛ましい事件、事故が多発し、一方、国外においても災害や紛争が頻発しており、数多くの尊い人命、財産が失われた一年でした。今年こそは笑顔でいられるいい年となることを願ってやみません。

本会は、人道的な活動を行う赤十字に協力し、赤十字精神の普及と事業の推進に貢献するとともに、会員間の親睦を図ることを目的として平成十七年九月に発足し、現在百六十四個人・法人が入会しています。

これも、会員の皆様の本会の主旨、赤十字活動へのご理解の賜物と、深く感謝いたしております。

これからも、会員各位から知人等に有功章社員へ加入の声かけなどにより更なる会員の増加を図りたいと存じます。

今日の社会は、ともすると効率・スピードのみが追求され、人のいのちや尊厳といったものが軽んじられるようになっていきます。そのような中、私たち有功会は、赤十字の支援組織として災害等で傷ついた人々への速やかな救護活動はもとより、次の世代を担う青少年に対する人道的な価値観の普及など、中・長期的な取組みについても積極的に支えて参りたいと思っております。

本年は「子年」であります。漢書「律曆志」によりますと、「新しい生命が種子に萌し始めること」と表されています。

今後とも、会員の皆様のご健勝を祈念するとともに、一層のご理解とご支援をお願いいたします。新年のご挨拶いたします。



広島県赤十字有功会は、

広島県内の日本赤十字社有功章受章者有志で構成され赤十字の有力な支援団体として

赤十字思想の普及と事業の進展を図り世界の平和と人類の福祉に寄与することを目的としています。

広島県赤十字有功会は、2005（平成17）年9月17日に設立いたしました。

◆ 総会の開催

● 役員会の開催

七月二日(月) 十四時

於 広島市中区

出席者 六名

● 総会の開催

七月二日(月) 十五時

於 広島市中区

出席者 三十二名

講演 (総会終了後)

「赤十字、

国際医療救援そして私」

日本赤十字社

和歌山医療センター

国際医療救援部長

敷本 充雄

懇親会 (総会講演終了後)

出席者 二十三名

◆ 全国有功会組織との連携等

日赤紺綬・有功会会長協議会総会出席

十月二十九日(月)～三十日(火)

於 長崎市大黒町

出席者 宇田 誠会長

支部より中川日出男事務局長出席

⇨ 仲間づくり運動の推進

有功章受章者へ入会案内送付

銀色有功章 九十一件

金色有功章 五件

感謝状 六件

◆ 赤十字事業に関する資料の提供

● 広島県赤十字有功会会報第三号発行

● 赤十字新聞の発送

● インターネットを通じた広報



日時

十月二十九日(月) 十四時から

十月三十日(火) 十三時まで

場所

「ホテルニュー長崎」

長崎市大黒町

日程

● 十月二十九日(月)

○ 第一部

・ 開会

・ 長崎県赤十字有功会

・ 日本赤十字社社長祝辞

・ 日本赤十字社長祝辞

・ 日本赤十字社長祝辞

・ 日本赤十字社長祝辞

・ 支部長祝辞

・ 議長選出

・ 議事

・ 閉会

○ 第二部

・ 講演会

・ 演題 「日本の近代化と長崎」

・ 講師 長崎県文化・スポーツ振興部参事

・ 本間 貞夫先生

・ 懇親会

● 十月三十日(火)

○ 視察

視察先：長崎歴史文化博物館、孔子廟、

中国歴代博物館



厚生労働大臣感謝状等贈呈式を開催

平成19年度広島県赤十字有功会総会の席上、贈呈式を開催しました。

これらの表彰は、日本赤十字社の事業資金のため、多額の資金を寄せられた方々に対し、国及び日本赤十字社から贈られるものです。

当日は、該当する207の個人・法人のうち16個人・法人が出席し、城納一昭副支部長（副知事）から、それぞれ厚生労働大臣感謝状、特別表彰状、感謝状、金色有功章、銀色有功章が贈られました。

受章（賞）者数の内訳は次のとおりです。

【厚生労働大臣感謝状】	3件（個人3件）
【日本赤十字社特別表彰状】	4件（個人4件）
【日本赤十字社感謝状】	20件（個人18件、法人2件）
【金色有功章】	18件（個人13件、法人5件）
【銀色有功章】	162件（個人11件、法人151件）

青少年赤十字加盟促進に 向けた取り組みについて

青少年赤十字(以下「JRC」とい
う。)は、「世界の平和と人類の福祉
に貢献できる青少年の育成」を目的
として学校に組織され、「健康・安全」
「奉仕」「国際理解・親善」を実践目
標として体験を重視した活動を展
開しております。

今日、人のいのちや尊厳が軽んじら
れる事件が続く状況の中で、これま
で以上に青少年にその大切さや人道
的な価値観を普及することが、重要
になっています。

広島県支部では、「人としてやさ
しく思いやりを持って行動できる子」
を育成するため、学校教育に積極的
にJRCを取り入れてもらおうと、

広島県内の学校等に対するJRCへ
の加盟促進に、より一層力を入れて取
り組んでおります。

平成18年度には、県教育委員会、
指導者協議会、賛助奉仕団、日赤県
支部間でJRC活動の活性化を目指
し協議を深めるとともに、未加盟校
に対するJRC活動への理解と加盟
促進に向けた働きかけを進めて参り
ました。このような働きかけにより
平成17年度末には加盟校数93校(園・
所)でしたが、平成20年1月末現在で
は294校へと急速に増加しています。
今後におきましても、JRC活動
がより一層広まっていこうよう努力して
参ります。

広島県支部の海外研修と 参加者の募集について

赤十字発祥の地・
ジュネーブの赤十字国際委員会など

本県支部は、赤十字の発祥の地であるイタ
リア統一戦争の激戦地ソルフェリーノ、赤十
字の中心機関の国際赤十字委員会(ICRC)など
を訪ね、赤十字への理解を深めることを目的
としたはじめてのヨーロッパ海外研修を次の
とおり企画いたしました。

是非、皆様方の奮ってのご参加を希望して
おります。

なお、詳細については、本県支部組織振興
課までご照会ください。

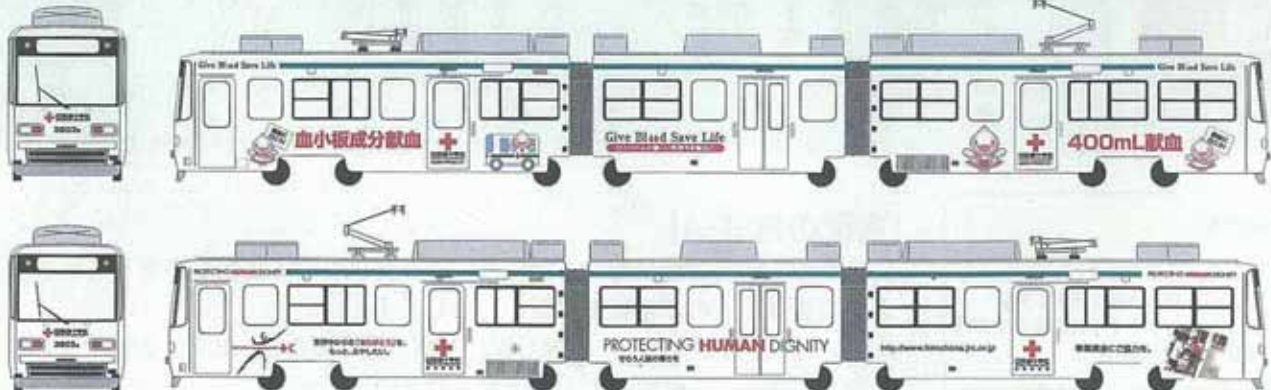
- | | |
|---------|----------------------------------|
| 1 期 間 | 平成20年10月4日(土)
～10月13日(月・体育の日) |
| 2 参加人員 | 20～30人 |
| 3 費 用 | 30万円～40万円
(参加者負担・参加人数で変動あり) |
| 4 最終申込み | 平成20年4月末日まで |

赤十字ラッピング電車走る

広島県支部は、県赤十字血液センターとの共同事業として、
昨年5月から「赤十字ラッピング電車」の運行を開始しています。

この電車は広島電鉄の広島駅～宮島口駅間を1日、6～7往
復運行し、赤十字事業への理解と協力を広く県民に呼びかけて
います。

白を基調とした電車は、片面に国際赤十字運動のスローガン
「PROTECTING HUMAN DIGNITY(守ろう人間の尊厳
を)」と一昨年8月に発生した給水トンネル事故に伴う大規模
断水災害時の救援活動の写真を配し、もう一方の側面には同血
液センターのマスコットキャラクター「ちーびっと」を使った親
しみやすいデザインで、献血への協力を呼びかけています。



平成十九年全国赤十字大会開催される

平成十九年五月八日、明治神宮会館で日本赤十字社名誉総裁皇后陛下、同名誉副総裁各妃殿下をお迎えして、平成十九年全国赤十字大会が開催されました。

大会には、広島県から本会森本弘道副会長をはじめ、三十三人が出席しました。

この大会で、名誉総裁皇后陛下から赤十字事業に貢献のあった方々の代表十三人のなかのひとりとして、本会の吉田道子会員が栄えある有功章を授与されました。

なお、吉田会員から別記のとおり感想文をお寄せいただきました。

全国赤十字大会に

参加して

吉田 道子

平成十九年五月八日(火)八時頃、晴れ空のJRR原宿駅で下車し、神宮の深い森の木々の力、香りを感じながら、すがすがしい気持ちで主人と二緒に急ぎ会場の明治神宮会館へ向いました。

私は、入口で受付を済ませ、会場の最前列へ案内され、他の受章者の方々と並んで着席し、少し緊張していました。

十時三十分「赤十字の一年」のビデオ上映があり、十二時ご出席の皆様と共に日本赤十字社名誉総裁皇后陛下、同名誉副総裁各妃殿下のご臨場を起立して拍手でお迎えしました。

有功章授与が始まり、いよいよ私の名前が呼ばれ、中央の階段から壇上へ。

そして、皇后さまの前に進み、有功章が入った広蓋をお受けするため両手を差し出し、広蓋をお受けしたそのとき、皇后さまとお顔を見合わせました。

すると皇后さまがお静かに「ありがとうございます」とおっしゃいました。その瞬間すうーと力が抜け、何とも言えない気持ちが出てきて、私も「ありがとうございます」と申していました。

後日、その時の大きなお写真を頂戴し額に入れ、部屋に掛けています。それを見る度に皇后さまがいつも手を差し伸べて下さっているという信頼感、安心感に包まれ、胸を熱くします。

このような機会を与えて下さり、お世話になりました皆様方に厚くお礼申し上げます。

今後とも微力ながら、ご協力できますようにと願っています。



会員数(平成十九年十二月末日現在)

個人 六十一名
法人 百三社
計 百六十四会員

平成十九年度新規会員紹介

ご入会いただき、ありがとうございます。

個人(五名)

- 松岡 照男 (福山市)
- 荒木 光明 (広島市西区)
- 竹下 さち枝 (広島市南区)
- 繁本 博子 (広島市安佐北区)
- 岩西 卓造 (廿日市市)

法人(六社)

- 株式会社福井亀之助商店 (尾道市)
 - 株式会社金陽社竹原工場 (竹原市)
 - 有限会社秀栄測量設計 (東広島市)
 - 株式会社マツヲ (広島市中区)
 - 株式会社共立機械製作所 (三原市)
 - 大和屋製パン工場 (福山市)
- (敬称略・入会順)

ご冥福をお祈りいたします。

出元 侃様 (府中市) 十月五日

平成20年2月発行

発行者 広島県赤十字有功会
発行所 広島県広島市中区千田町2-5-64
730-0052 日本赤十字社広島県支部内
電話(082)241-8811

<http://www.hiroshima.jrc.or.jp/yukokaitop.htm>

【寄稿のお願い】

広島県赤十字有功会会報は、会員の皆様と共につくる会報をめざしています。会員の皆様からのご寄稿をお願いいたします。俳句、短歌、詩、エッセー、旅行記、写真、絵などなど、ぜひ、お寄せください。また、ご意見、ご要望などお聞かせください。